

令和6年度 理科 授業改善推進プラン

大田区立調布大塚小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・習得型の授業を行い、説明したり活用したりする場面を設定したことが、知識・技能の定着につながった。
- ・観察、実験の方法を考えさせてから観察、実験を行い、観察や記録、実験データを表に整理したり、グラフに処理したりして、科学的な言葉を用いて考えさせたことで、思考が深まった。

(2) 課題

- ・他の項目に比べて知識・技能の項目が、目標値の上回りが小さい。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率(経年比較)

	令和6年度結果	令和5年度結果	令和4年度結果
第4学年	≡	/	/
第5学年	△	≡ (第4学年時)	/
第6学年	≡	≡ (第5学年時)	≡ (第4学年時)

(2) 分析(観点別)

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・目標値と比較するとわずかに上回っている。	・目標値と比較するとわずかに上回っている。	・目標値と比較するとわずかに上回っている。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・目標値と比較するとわずかに上回っている。	・目標値と比較すると上回っている。	・目標値と比較すると上回っている。

3 授業改善のポイント(観点別)

(1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能の定着を図るために、習得型の授業を行い、児童同士で説明したり活用したりする場面を設定する。 ・習得させたい知識・技能を児童が家庭で保護者に説明する場面を設定する。 ・習得させたい知識・技能に応じて、実感を伴った理解を目指し映像資料と実物を効果的に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を基に、予想や仮説を立ててから観察、実験を行い、観察記録や実験データを表に整理したり、グラフに表したりして、科学的な言葉を用いて考えさせる。 ・児童が授業で行った内容や考えたことをノートやタブレットを使って、保護者に説明する場面を設定し、児童に学習したことを振り返えらせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって学習に取り組めるように、授業の流れをパターン化する。 ・既習の内容や予習で得た情報について、実際に実験や観察を行い確かめようとする態度を育てる。

(2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・実物を見たり、触ったりできる機会を増やす。実物を見ることが難しい場合は、ICT 機器を用いて映像資料等を活用する。 ・学習内容について説明したり活用したりする場面を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を基に、予想や仮説を立ててから観察、実験を行い、観察記録や実験データを表に整理したり、グラフに表したりして、科学的な言葉を用いて考えさせる。 ・実験データを基に分かったこと、考えたことを説明する場面を設定する。 ・児童が授業で行った内容や考えたことをノートやタブレットを使って、保護者に説明する場面を設定し、児童に学習したことを振り返えらせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の内容を基に、探究的な活動や協働的な活動を設定し、主体的に取り組む態度を育てる。 ・他の単元の学習や日常生活と関連させて考えている児童の発言・考えを価値付け、学んだことを学習や生活に生かそうとする態度を育てる。